

新たな果樹産地の育成に向けて なし新規栽培者の技術習得研修会を開催

当課では、ぶどうとなしの新たな果樹産地育成と販路確保を課題とした普及計画に取り組んでいます。昨年度までの普及活動で、ぶどうとなし合わせて 23 経営体、約 1.2ha において新規栽培者による栽培がスタートしました。新規栽培者の大半は販売用果樹の栽培経験がないことから、栽培技術の習得が重要な課題です。

4 月 8 日に、なしの新規栽培者を対象に甲賀市春日のモデルほ場において、結実管理の初期段階として重要な摘らい作業と受粉作業および黒星病防除について実技研修と座学研修を行いました。研修会では、適期に作業が実施出来るように作業時期と要点を記入した整理票（栽培管理シート）を配布し、生育状況を見極めながら当面の作業スケジュールを確認しました。

参加した栽培者からは、「新規栽培者同士で生育状況や管理について確認できて心強い」など、技術習得は勿論のこと仲間意識の醸成効果も伺われる感想が出ていました。

今回の指導内容については、現地巡回指導で実施状況の確認を行い、技術内容の確実な習得に向けてフォローを行います。次回の研修会は、満開 14 日後となる 5 月 7 日に摘果研修会を開催する予定です。



生育状況の確認と摘らい指導の様子